２０２４年度　女子　堺春季大会　競技規則

採点規則２０２２年版　変更規則Ｉを以下のように部分変更して、堺春季大会競技規則とする。

≪Ｄスコア≫

難度点 （ＤＶ）	跳馬・・・２０２２年版採点規則の難度点に1.40点をプラスする。 段違い平行棒・・・終末技を含む最大８つの高い順からの難度を数える。 平均台・・・終末技を含む最大８つの高い順からの難度を数える。 （アクロバット系、ダンス系の区別はしない。） ゆか・・・最大８つの高い順からの難度を数える。 （アクロバット系、ダンス系の区別はしない。） 同一技の難度は演技の中で、１回のみ承認される。
構成要求（ＣＲ）	４つの構成要求を各0.5点とし、最大2.00点とする。
加点	段違い平行棒・平均台・ゆかの演技において、以下のように加点する。 ＊質の高い演技に対して、最大0.5点を与える。 演技の一部分または全体の流れに対して評価する。 ・身体の細部までコントロールされた常に美しい姿勢 ・欠点のない正確な技の実施 ・雄大さ（宙返りの高さ・振幅の大きさ　など） ＊ボーナスとして、＋0.5を与える。（各種目の項に記載）

≪Ｅスコア≫

10.00から、実施と芸術性の減点をする。

≪短い演技≫

短い演技の場合、Ｅスコアの最高点は以下の通りとする。 ６技以上の実施・・・10.00 ５技の実施　・・・8.00 ４技の実施　・・・6.00 ３技の実施　・・・5.00 ２技の実施　・・・4.00 １技の実施　・・・3.00

≪跳馬≫

・２回の跳躍を実施し、良い方の得点を有効点とする。 ・跳躍台の高さ　１２０㎝ ・開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のＤスコアは1.00とする。Ｅスコアの最高点は5.00とする。 ・台上倒立前転のＤスコアは2.00とする。Ｅスコアの最高点は7.00とする。

≪段違い平行棒≫

構成要求 （ＣＲ）	①低棒け上がり ②高棒け上がり ③棒に近い回転系の技 ④③とは異なる~~棒に近い~~回転系の技
種目特有の減点	「低棒から高棒へジャンプして移動する　－0.5」を削除する。
A難度を認められる技（構成要求に使用できる）	・開始技としてのさかあがり 開始技で低棒け上がりを行ったが承認されなかった。 そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりのA難度は認められる。 ・そんきょ ・高棒からの棒下振り出しおり
ボーナス	終末技がA難度の場合は＋0.5を与える。

≪平均台≫

構成要求 （ＣＲ）	①１８０度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身のリープ・ジャンプを１つは含む 少なくとも２つのダンス系の技からなる直接の組み合わせ ②片足上のターン（３６０度以上）または接転系の技（＊１） ③前方／側方のアクロバット系の技（前転を除く） ④後方のアクロバット系の技（後転を除く）
種目特有の減点	変更なし
A難度を認められる技（構成要求に使用できる）	・伸身とび　・かかえこみとび　・前転　・後転 ・前転とびおり　・側転とびおり　・片足ふみきり側方伸身宙返りおり ・片足ふみきり前方伸身宙返りおり
ボーナス	終末技がA難度の場合は＋0.5を与える。

＊１　接転系の技・・・前転・後転・前転上がり・手支持なしで前転・倒立前転

≪ゆか≫

構成要求 （ＣＲ）	①１８０度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身の跳躍技を１つは含む２つのリープ またはホップの直接または間接の組み合わせでの移動（＊２） ②片足上のターン（３６０度以上） ③前方／側方の空中局面を伴うアクロバット系の技（＊３） ④後方の空中局面を伴うアクロバット系の技（＊３）
種目特有の減点	変更なし
A難度を認められる技	・前方倒立回転　・側方倒立回転　・後方倒立回転 ・倒立前転　・後転倒立　・かかえこみとび
ボーナス	３つの技（３つとも空中局面を持つアクロバット系の技）からなるアクロバット系のシリーズに＋0.5を与える。

＊２　間接・・・ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入ったもの。

＊３　空中局面を伴うアクロバット系の技・・・前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。